

学校において定める 目 標		<p>(1) 自己の在り方生き方を考えながら、現代社会の問題を自己の問題としてとらえ、課題を発見し、「問い」を立て、よりよく課題を解決していくための資質・能力を育成する。</p> <p>(2) 共働的な活動を通じて、多面的な他者理解と自己の相対化を図り、「対話」の態度を養う。</p> <p>(3) 自己の思いや考えを、相手にわかりやすく発信する力を育てる</p>
内 容	探 究 課 題	「まとめる」力・「伝える」力の育成
	育成を目指す 具体的な 資質・能力	<p>(1) 探究に必要なリテラシーや課題の発見や解決に必要な知識及び技能、探究の意義や価値の理解</p> <p>(2) 自分の興味関心に応じて課題を立て、情報収集やその整理、分析を通して、自分の結論を導く力及びそれらをまとめ・表現する力</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組む態度、多面的な他者理解と自己の相対化を通じた「対話」の態度</p>
付与する単位数		1単位
授業時数の配当方法		基本的に1単位を週ごとに割り振り実施する。 (但し、平和学習に関して、特定の期間・日時に集中的に行う場合もある。)
学 習 活 動		<p>(1) 課題研究「まとめる」力の育成 (2年次までの探究活動の報告論文を英語で作成する)</p> <p>(2) 課題研究「伝える」力の育成 (作成した論文をもとに英語で相手に論旨を伝える)</p> <p>(3) 平和学習 (本校と広島の被爆について学び、人に伝えられるようになる)</p>
教 材 の 使 用 等		自作教材
指導方法・指導体制		<p>英語科による指導で、コース単位での共働的な学習活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションデザイン部において、指導計画および指導案を策定する。 ・英語科が指導計画および指導案を検討し、指導を行う。
評価規準・評価方法		<p>英語論文・ルーブリックシート・その他ワークシートにより、以下の規準で評価を行う。</p> <p>(1) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度が身に付いている。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己とのかかわりから問いを見出し、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>(3) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な技能を身に付ける。</p> <p>(4) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できる。</p>

単元	月	探究の過程	学習内容・学習活動	時数	学習形態 (場所)	各教科・特別活動等との関連・ 指導上の留意点等
読書体験の充実と平和学習	4月	まとめ・表現	★2年次の取り組み内容を研究論文として英語でまとめる ★世界を知り、考える ・平和について考える	14	HR 単位 (教室)	・適切なフォーマットに基づいて、英語で自分の探究の取り組みをまとめることができるようにする
	5月					・まとめたものを他に説明することができるようにする
	6月					
	7月					・被爆の実相や核兵器廃絶に向けた国際社会の取り組みを理解し、平和な社会の実現に向けて自分たちのできることを考えるように指導する
	8月					
世界を知り考える	9月	課題の設定	★卒業後、探究したい問いを1つ立てる	10	HR 単位 (教室)	・他との協同の中で、生徒一人一人が新たな「問い」を手に入れるように指導する
	10月	情報の収集1	★自分の関連分野の英語論文を選ぶ			・自分の関連分野の情報を、機械翻訳を用いながら英語で収集するように指導する
	11月	情報の収集2	★選んだ論文を読んでいく			・選んだ論文を機械翻訳を使いながら適切に読み、情報を手に入れるように指導する
	12月					・その結果、新しい「価値観」や「見方・考え方」を自分の関連分野に関して手に入れるように指導する